



◆連休の使い方

5/2(火)の校外学習(通称「遠足」)を経て、5/3(水)~7(日)の5日間の連休期間を迎えます。活動量の多い部活動に所属している人は、2年生として大忙しなのではないでしょうか。後輩となる1年生が入部してきて、自らも春季大会などの公式戦・練習試合、また、夏に向けて練習の本格化など、勉強と部活動の両立に、意識を向けた時間の使い方をしなければ何も手が付かないままの5日間になりかねません。そしてそれは、そこまで忙しくない部活動の人や、部活動に入っていない人も同じで、この5日間をどう使うかを意識した過ごし方を組み立てなければ、結局は“何となく”過ぎてしまう時間を積み重ね、思ったほど手が付かないまま5/8(月)を迎えかねません。

この5日間の連休の過ごし方は、そのまま2年生の夏休みの過ごし方に反映されると考えてください。部活動も、自分のやりたいこと(もちろん趣味の分野も大いに結構!)も、そしてこの間の勉強も、どれも大切です。1日のどの時間帯を、何に費やしていくのか——だいたいこんな感じで、という5日間の過ごし方を組み立てておきましょう。そして、その結果を5/8(月)にふり返ってみましょう。想定した過ごし方で、部活動と学習の両立は出来たのか。一方で、部活動・学習以外で、自分がやりたいことは出来たのか。もちろん、4月に新クラスとなり、新たに人間関係を構築していく中で、また、勉強でもそれ以外でも2年生になって負荷が大きくなってきた中で、心身の休息も必要です。学校のこと・やりたいこと・休息の鼎立はかなったのか。数週間の夏休みに比べ、連休の5日間であれば、計画もしやすく、実践もしやすく、そしてチェックもしやすい日数です。この5日間をうまく使えたと思うのであれば、夏休みもその調子で計画を組み立てて進めてい

けばいいでしょう。この5日間の使い方では、夏休みは不安だなということであれば、夏休みに向けて時間の使い方を考え直し、慣らしていかなければなりません。そうした調整の機会として、連休の5日間を使ってほしいのです。

当然のことですが、学習時間0分の日には作らない——これは鉄則です。「文武両道」とは言いますが、「両道」は、確かな「文」の取組みを基盤としています。「文」のない「文武」はあり得ません。一方で、高校生の時期にしか出来ないような活動——それは人によって違いますが、部活動であったり、自分でやりたい趣味の世界であったりしますが——にも、存分に取り組んでほしいと思います。ちなみに私(高崎)は時刻表を片手に(私の高校生当時はスマホもなかった)、琵琶湖1周120円の旅に挑戦したことを覚えています(今なら140円ですが、何のことか分からない人は、鉄道好きの人に訊いてみましょう)。半日くらいかかる車中で、流れる車窓をバックに好きな本と単語帳をめくっていましたが。

さて、どんな5日間を過ごしたのか。その成果は5月の学習時間調査に現れることでしょうか。5/8(月)の提出分を担任一同、楽しみにしていますよ。

◆当面の予定

5/2(火) 校外学習

9(火) 60分授業×5コマ+LHR(40分)

10(水) 検尿提出

11(木)LHR スタサポ成績資料返却

12(金)3限(A金5)授業参観

午後:PTA総会

18(木) 防災退避訓練